

南丹市市民提案型まちづくり活動交付金(学生提案型)採択一覧

No.	代表者	事業の名称	事業の種別	事業の目的	実施内容	連携	実施場所	構成員
1	和辻 直	医一食を考える健康の会	課題設定型	学生に食について考えてもらい、食と健康に関して交流できる場を提供する。	南丹市園部町にあるギャラリーカフェ「道の途中」を拠点に、メニューの食材を東洋・西洋の視点から効能を調べ、食への関心を持ってもらう。また南丹市の食材を用いた創作メニューを学生とカフェ事業主と共に創作することにより、地産品の食材価値を高め、食育・食養を通して、南丹市内・外に発信する活動を行うことがねらいである。さらに自身できるセルフケア活動(体操、お灸など)も体験する。	ギャラリーカフェ「道の途中」	園部町	12人
2	佐藤裕見子 学生代表 坂本 憲亮	「町の保健室」事業	課題設定型	地域にある高齢者サロンを拠点に、高齢者を対象とした健康相談、健康教育などの取り組みを学生自身が実施することで高齢者の健康づくりの意識の高揚を図り、地域の活性化に寄与する。	1.健康相談、血圧測定、2.「介護予防のための演劇—ロコモテックシンドロームの予防」による健康教育、3.ロコモテックシンドローム予防意識調査	社会福祉協議会日吉支所	日吉町内・美山町内	24人
3	境野 昌行 (大学院博士課程1年生)	小児アトピー性皮膚炎を対象とした家庭で出来る、タッチケアと刺さらないはり治療(小児鍼)	課題設定型	タッチケア・小児鍼を用いて症状を改善し、親子間のメンタルストレス軽減を図る	講習会を実施し、保護者にアトピーとタッチケアおよび小児鍼について理解してもらう。②実際に興味を持った保護者には、治療プログラム・相談会に参加してもらいタッチケア・小児鍼を家庭で実施してもらう。	風の市を盛り上げる会、NPOグループアップ	南丹市全域	8人
4	伊藤 和憲 中村 沙樹 (鍼灸学部4年生)	セルフケア～病気やストレスに負けない心と身体作り	課題設定型	子供への健康教育を実施し保護者にその重要性を知ってもらう。	子供の健康観を育てる上で必要な教育内容(身体について、病気について、身体と心の関係など)をまとめると共に、その内容を保護者がわかりやすく子供に伝えるための方法を確立するために5回程度の(1回45分程度)講義を実施し、その最終的な内容を保健便りにまとめることで、子育て世代の保護者に家庭に情報発信する。	NPO法人グループアップ・スポーツ少年団	南丹市全域	4人
5	神内 伸晃	健康長寿プロジェクト	課題設定型	東洋医学による健康教室の開催	月に1回、南丹市の公民館や本学の施設、南丹市内の公立高校で、「明日からできる東洋医学によるカラダのケア方法」と題して中学生、高校生、中・高齢者の方を対象に健康教室を無料で開催する。主な健康教室の内容は、中・高校生であればツボを使った疲労ケアの方法、中・高齢者であれば、冷え症の改善、季節にあった食育の方法などを考えている。	社会福祉協議会日吉支所	日吉町内	6人
6	林 弘典	園部町お掃除プロジェクト	自由提案型	園部町の清掃活動によってゴミのポイ捨て状態を撲滅し、住民のモラルを高め、より安全で安心な住みやすい町にします。また、清掃活動を通して住民と親交を深め、地域連帯感を醸成します。	事前に園部町の住民の方(区長さんなどの代表者)と意見交換を行い、要望を反映させながら、道路や公園などのゴミ拾いや草抜きなどの清掃を住民と協働して行います。また、清掃活動を通して住民と親交を深め、地域連帯感を醸成します。	園部町小山東町区	園部町	20人